

2023年11月21日

各位

会社名 株式会社カイオム・バイオサイエンス
代表者名 代表取締役社長 小林 茂
(コード：4583 東証グロース)
問合せ先 取締役経営企画室長 美女平 在彦
(TEL. 03-6383-3746)

がん治療用候補抗体 CBA-1535 に関する欧州における特許査定についてのお知らせ

このたび、当社で開発を進めているがん治療用候補抗体 CBA-1535 に関する特許出願について、欧州における特許査定通知を受領いたしましたので、お知らせいたします。

本特許は多重特異性抗体 Tribody™ 技術を活用し創製したがん治療用候補抗体 CBA-1535 に関連する特許であり、これまでに日本、英国、米国、中国で特許が成立しております。

当社では現在、CBA-1535 の国内臨床第1相試験を推進しております。本試験はがん細胞と免疫細胞（T細胞）の双方に結合し、T細胞を活性化してがん細胞を叩くという Tribody™ フォーマットの T cell engager としての作用機作を検証するための世界初の臨床試験であり、現在は固形がん患者さんを対象に段階的に治験薬の投与量を増やしながら CBA-1535 の安全性の確認を進めております。

本特許は CBA-1535 の開発および導出活動を支える知財基盤を強化するものであると考えております。

【発明の名称】 FUSION PROTEIN COMPRISING THREE BINDING DOMAINS TO 5T4 AND CD3
【特許出願番号】 15817832.7
【特許権者】 株式会社カイオム・バイオサイエンス

本件が2023年12月期業績に与える影響はありません。

< CBA-1535 について >

CBA-1535 は3つの抗原結合部位のうち、2つは多くの固形がんが発現がみられるタンパク質「5T4」に結合し、残りの1つが免疫細胞であるT細胞上のタンパク質「CD3」に結合する、Tribody™ 技術を用いて創製されたがん治療用候補抗体です。現在、国立がん研究センター中央病院、および静岡がんセンターにおいて臨床第1相試験を進めております。CBA-1535 は患者が元来保有している免疫機構を司るT細胞の働きを促進することでがん細胞を攻撃します。想定される適応疾患としては、悪性中皮腫、小細胞肺がんや非小細胞肺がんなどのアンメットニーズが高い領域での開発が期待されます。

< Tribody™ 技術について >

Tribody™ は分子工学的手法により作製した複数の抗原に対する特異性を持つ多重特異性抗体で、1つの分子の中に3つの異なる抗原結合部位があり、異なる機能を組み合わせることができます。例えば、結合部位の1つはT細胞やNK細胞のような抗腫瘍活性を有する免疫細胞（エフェクター細胞）をがん細胞へ誘導するように設計し、残りの2つの結合部位ががん特異的抗原の異なるエピトープに結合、または、同じがんが発現している異なる抗原を認識するように設計することが可能です。そのことにより安全性及び有効性の高い抗体医薬品の開発が期待されます。Tribody™ 技術にかかる商標として Trisoma® が登録されております。

以上